

令和3年度 公民科

教科	社会科	科目	現代社会	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「新訂版 高等学校 新現代社会」(清水書院)						
副教材等	「フォーラム 現代社会 2021」(とうほう)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
- ・自ら調べて学んだ内容を他者に説明するといった活動をとることで知識・理解を深めます。
- ・授業で学んだ内容を自分なりに要約し、文章でまとめる作業を行ってまいります。

2 学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期考査</li> <li>・発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・提出課題</li> <li>・発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	内容	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方	第2章 現代の民主政治と政治参加の意義	①民主政治における個人と国家	○	○		○	a:私たちの生活と政治や国家のかわりについて関心を高めている。 b:世界のおもな政治体制について、真の民主政治の実現と関連させて考察する。 c:基本的人権が保障されるにいたった経緯を、さまざまな情報手段で資料を収集し、具体的事例をあげて考察し、理解する。 d:国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期考査</li> <li>・発表</li> </ul>
			②民主政治の原理とその展開			○	○		
③民主政治の具体化と法の支配	○	○							
④世界の主な政治体制	○	○		○					
			⑤明治憲法と日本国憲法	○	○		○	a:日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解している。 b:自由権の意味や、社会権が私たちの生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かをさまざまな立場にたって考察している。 c:日本国憲法の平和主義の特色を理解するとともに、平和主義と日本の安全保障について、さまざまな情報手段を活用しながら考察している。 d:日本国憲法の平和主義の特色と自衛隊、日本の安全保障については、さまざまな立場からの意見があることを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期考査</li> <li>・発表</li> </ul>
		⑥平等権と自由権	○	○					
		⑦社会権・参政権・請求権	○	○					
		⑧新しい人権・人権の国際的広がり	○	○					
		⑨平和主義と安全保障	○		○	○			
		⑩日米安保体制と近年の防衛問題	○		○	○			

2		<p>①国会のしくみと役割</p> <p>②内閣のしくみと行政機構</p> <p>③裁判所の役割</p> <p>④地方自治の現状と課題</p>	○	○	○	<p>a: 国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について興味関心を持つ。また、自身の生活する地域の地方自治について調べ、自治を身近に感じている。</p> <p>b: 議院内閣制の意義と課題について考察している。また、地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として具体的に考察している。</p> <p>c: 国会・内閣・裁判所の地位と構成について、インターネットなどの情報手段などで資料を収集し、活用している。</p> <p>d: 議院内閣制のしくみ、裁判所の役割や裁判制度について、理解している。また、地方自治に住民はどのような権利をもっているか、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として理解し、その知識を身につけている。</p>	
		<p>⑤政党の役割</p> <p>⑥選挙と選挙制度</p> <p>⑦世論の形成と現代民主政治の課題</p>	○	○	○	<p>a: 自身の生活する地域の地方自治について調べ、自治を身近に感じている。</p> <p>b: 国政・地方自治に対して住民はどのような権利をもっているか、どのような行動が必要なのかなどについて、自分自身の問題として具体的に考察している。</p> <p>c: 政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、調査している。</p> <p>d: 現代政治の課題について、自分自身の問題として理解し、その知識を身につけている。</p>	

3	第4章 国際社会の動向と日本の役割	①国際社会と国際法	○	○	○	○	a:第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って整理し、国際社会の一員として何をすべきかを理解している。 b:国際法の意義と役割や核兵器を廃絶するには何が必要かを考え、核兵器の開発・拡散の状況、廃絶するためのさまざまな取り組みについて、具体的事例をあげて多角的に考察・理解し、国際社会における日本の役割や、国際社会の一員として私たちは何をすべきかを考えている。 c:国際連合の役割と課題について、インターネットなどの情報手段を用いて調査し、それらをもとにレポートをまとめている。また、国境と領土問題や日本の領土問題について、教科書の写真・地図を使用して理解している。 d:勢力均衡と集団安全保障体制の違いや、なぜ人種や民族の違いにより争うのかをについて考え、国連の役割と課題、人種・民族紛争の実態、難民問題について理解している。また、国境と領土問題、特に日本の領土問題についての知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 ・発表
		②国際連合の役割と課題						
		③国際社会の動き	○	○				
		④核兵器の廃絶と軍縮問題	○	○				
		⑤地域紛争と人種・民族問題	○					
		⑥国際社会と日本の地位・役割	○	○				

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:資料活用の技能                                      d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。